

平成21年3月31日発行
企画・発行／富山県知事政策室広報課
富山市新総曲輪1番7号
TEL.076-431-3131 (県民相談電話)
FAX.076-444-3300 (県民相談ファックス)
編集協力／株式会社 チューエツ

○「県報とやま」に関するご連絡、ご質問は
〒930-8501 (住所記入不要) 県庁広報課あて
TEL 076-444-3134 FAX 076-444-3478
E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください。
<http://www.pref.toyama.jp/form.html>
広報課ホームページ
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1001/

「県報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折込みにより各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧できます。

contents

- 特集 平成21年度 県予算……………②
- クロスアツとやま 明日のとやまの教育……………⑥
- とやま未来遺産 まちにとけ込むノミの痕、木彫刻の井波……………①
- TOPICS とやま……………①
- 県政の動き……………⑦
- テレビラジオ・新聞チェックガイド 県政番組のお知らせ……………⑦
- とやまのごつお ほたるいかの菜の花サラダ……………⑦
- 県政クイズ……………⑦
- どこ行く? 何する? お出かけ情報……………⑧



八日町通り



木彫りの看板やバス停が目を引く



木彫職人の工房



瑞泉寺

次代につなぐ とやま 未来遺産 vol.8



vol.8

まちにとけ込む ノミの痕、 木彫刻の井波 (南砺市)

木彫りの伝統に出会う 風情ある町並み

浄

土真宗の名刹・瑞泉寺の門前町として栄えてきた井波。まちの代名詞でもある木彫刻の歴史は、江戸時代中期に焼失した瑞泉寺再建の際、京都本願寺から派遣された彫刻師・前川三郎が技術を伝えたことが始まりでした。

瑞泉寺の門前から北にのびているのは、八日町通り。石畳の緩やかな坂道の両側には、格子戸のある町家や郷土玩具の店、造り酒屋、木彫り職人の工房などが軒を連ね、古い町並みに職人たちの振るう木槌の音が心地よく響きます。彫刻を施した看板やバス停、世帯主の干支を彫り込んだ表札などを見ながら散策するのも、木彫りのまち井波ならではの楽しみです。

八日町通りでは、この歴史ある景観を守るため、平成17年に県内初の「景観づくり住民協定」を締結。古い町並みと伝統産業の木彫りが一体となったまちづくりが進められています。井波らしさが随所に感じられる八日町通りには、ふるさとを誇りに思う住民の皆さんの思いが深く静かに息づいています。

八日町景観委員会

委員長 春田 孝さん(南砺市)



「景観づくり住民協定」は、瑞泉寺の門前町としての歴史と伝統にふさわしいまちづくりを目指し、住民みなで知恵を出し合って制定しました。観光客にも、私たち住民にとっても魅力あるまちとして、古き良き井波を未来につないでいきたいと思っています。

とやま未来遺産のお問い合わせは 県庁観光・地域振興局 地域振興課 TEL076-444-3949 <http://miraiisan.pref.toyama.lg.jp>



滝田洋二郎さん

今後とも、素晴らしい作品を世に送り続けられ、日本そして世界の映画界の発展に向け、さらに大活躍されるよう皆さんで応援しましょう。

平成21年2月、富山県出身の滝田洋二郎さんが監督された映画「おくりびと」が世界的に権威のあるアカデミー賞 外国語映画賞をはじめ、国内外映画祭の各賞を受賞されました。滝田さんは映画監督として、これまで多彩な作品を世に送り出されてこれ、今回、映画界最大の祭典で栄えある受賞をされたことは、日本全国に大きな夢と希望を与えるものであり、富山県民の誇りです。このため、21年3月、制度創設以来、初めてとなる富山県民栄誉賞を滝田さんに贈呈し、その輝かしい功績を称えました。



石井知事から県民栄誉賞が贈られました

TOPICS とやま

県民の誇りである
滝田洋二郎さんに
初の県民栄誉賞を贈呈!



特集 平成21年度 **県予算** 「元気・くらし安心予算」 ～経済・雇用対策の拡充と将来の成長に向けて～

新たな飛躍、地域活性化の芽を育て、「元気・くらし安心」に取り組みます。

平成21年度の県予算は、緊急の経済・雇用対策の拡充と、新たな飛躍の芽を育て、将来の成長に向けて積極的にチャレンジする「元気・くらし安心予算」です。

予算規模は、前年度比1.0%増の5317億3700万円、2年ぶりの増加となりました。特に、経済・産業の振興、雇用対策、農林水産業の振興、子育て、教育文化、医療・福祉の充実、社会資本整備などの政策経費は、前年度比3.3%増と18年ぶりの高い伸びとなり、県民の皆さんのご意見を県政にしっかりと反映しています。

ポイント①

迅速かつ的確な 経済・雇用対策

世界は今、百年に一度とも言われる深刻な経済不況に陥っています。国内では、個人消費や輸出・生産が減少しており、雇用情勢にも深刻な影響を与えています。県内経済も景気は急速に悪化し、企業の雇用調整の動きが広がるなど経済・雇用情勢は極めて厳しくなっています。

このため、緊急の経済・雇用対策を県政の最重要課題に位置づけ、迅速かつ的確に対応することとして、平成20年度2月補正予算と一体のいわば14カ月予算として編成しました。



ポイント②

将来の成長・発展に向けた 元気とやまの創造

昨年7月の東海北陸自動車道全線開通で中京圏との交流が深まっていることに加え、今後、北陸新幹線の開業によって首都圏との交通の利便性が飛躍的に高まり、観光振興やビジネス交流の活性化が期待されます。

こうした大きな環境変化に対応し、将来の新たな飛躍や地域活性化の芽を育てるため、「元気とやま創造戦略枠(20億円)」を設け、県民の皆さんの様々なニーズを踏まえた政策を戦略的に展開することとしています。また、「水と緑の森づくり税」を財源として、引き続き県民参加による森づくりを進めていきます。

厳しい財政状況のなか、今後とも、一人ひとりが輝いて生きられる「元気な富山県」を目指し、県民の皆さんの声をお聴きしながら新たな未来を切り拓いていきます。

経済・雇用対策と新たな飛躍の芽を育てる 「元気・くらし安心予算」

平成21年度 一般会計予算総額 5,317億3,700万円(対前年度比 +1.0%)
【14カ月予算(20年度2月補正予算+21年度当初予算) 5,457億8,100万円(対前年度比 +3.7%)】

「元気とやま」の創造

政策経費 2,625億円 +3.3%
(経済・雇用対策、産業振興、教育文化、医療・福祉、社会資本整備など)

○経済・雇用対策

◆経済対策

- ・現下の経済情勢を踏まえた緊急対策 —中小企業制度融資の拡充—
「小規模企業等経営支援短期資金」の創設(融資枠20億円)、「経済変動対策緊急融資」「借換資金」の拡充→これら3つの資金で融資枠300億円を確保(対前年度 100億円増)
- ・新たな成長に向けたチャレンジ
健康創造クラスター、バイオ、ロボット開発、小水力発電・太陽光利用、デザインの振興等、環日本海諸国へのゲートウェイの確立、観光振興戦略、ものづくり人材の確保・育成 など

◆雇用対策

- ・ふるさと雇用再生特別基金、緊急雇用創出臨時特例基金などを活用した雇用の創出
基金総額 75.9億円(21年度県実施事業 13億円、850人の雇用創出)
※市町村分も含め、3年間で4,400人の雇用創出
- ・離職者対象の職業訓練コースの定員枠拡大、就職支援員(2名)の配置、非正規労働者等の相談窓口の設置
- ・県単独雇用対策の推進 45億円(一般財源)

◆公共・県単独建設事業等の実施

- ・補正予算と一体的に取り組み、工事の早期発注・需要喚起
社会資本整備に要する経費 1,058億円(前年度比 +2.2%) ※国の公共事業関係費(同比 Δ5.2%)

○元気とやま創造戦略枠 20億円

活 力

- ◆ほくりく健康創造クラスター、ロボット、IT、デザイン、農商工連携、起業支援
- ◆農林水産業の振興
- ◆観光振興戦略プラン推進、国際観光、観光人材育成、コンベンション等誘致
- ◆交通・物流基盤の整備、中心市街地・地域の活性化、まちづくり など



未 来

- ◆子育て応援券の配付、放課後児童クラブの拡充、親を学び伝える家庭教育推進
- ◆中学1年生の35人学級選択制の導入、小学校専科教員等の配置、スクールカウンセラーの拡充
- ◆Uターン対策、ものづくり人材の育成、スポーツと連携した地域振興、ふるさと文学など芸術文化の振興
- ◆くらしたい国づくり、水辺のまちづくり、グリーン・ツーリズム、景観、森づくり など

安 心

- ◆医師・看護師確保対策、がん対策、新型インフルエンザ対策、県立中央病院の機能強化
- ◆在宅医療と訪問看護の推進、福祉・介護人材確保対策、障害者福祉の推進
- ◆環境保全・地球温暖化対策
- ◆防災・危機管理、安全なまちづくり、消費者行政の充実 など

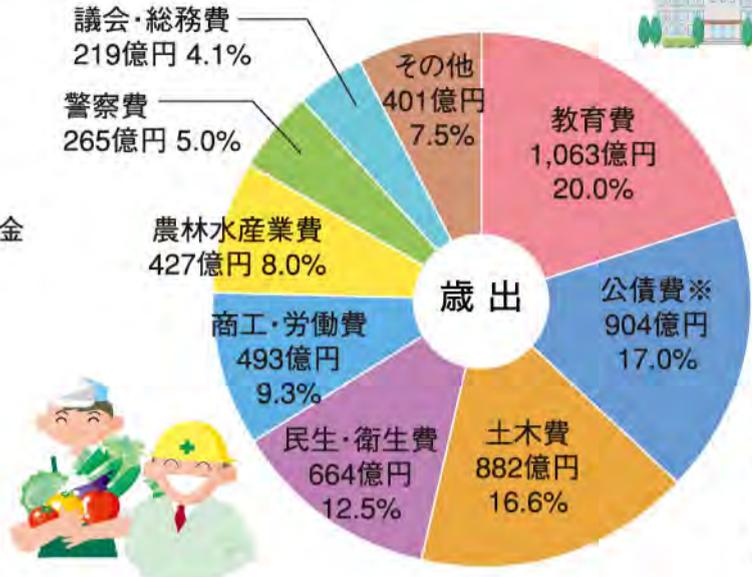
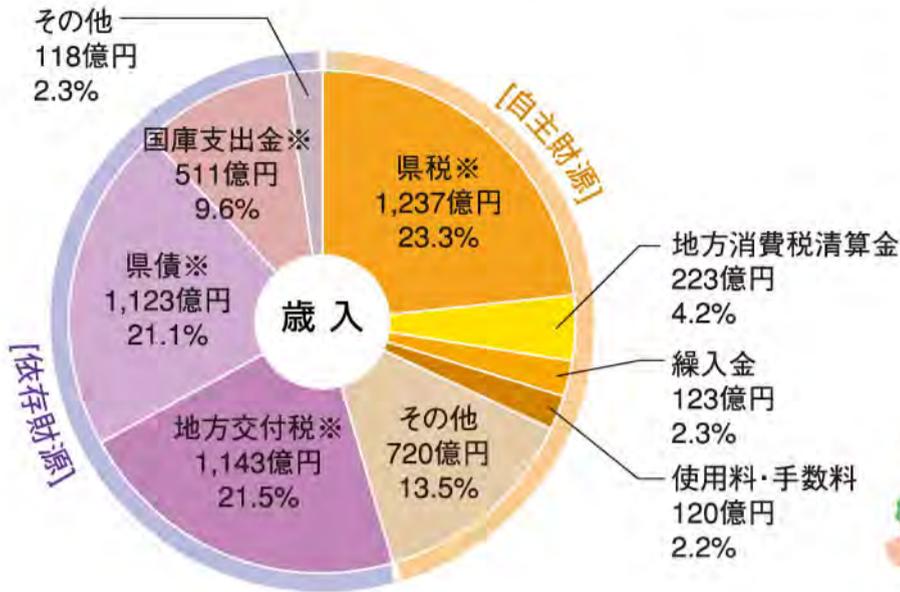


○水と緑の森づくり枠 3.7億円

里山林の整備、竹林の管理・利活用、森林ボランティア活動への支援、カシナガ対策、県産材の利用促進 など

●平成21年度 一般会計予算

予算総額 5,317億3,700万円



※予算額は1億円未満を四捨五入しているため、一部の構成比率は合致しない。また、各金額の合計は予算総額と一致しない。



富山県の財政は、国の地方交付税の大幅削減などにより、平成16年11月の時点で約400億円の財源不足が見込まれました。このため、平成17年度を「財政再建元年」と位置づけ、職員数の削減、公債費負担の平準化等を行うなど、県民の皆さんのご理解を得ながら、徹底した行財政改革にスピード感を持って取り組み、財源不足を着実に圧縮してきました。

平成21年度の予算編成にあたっては、急速な景気悪化により県税収入が約300億円も減少する見込みとなりましたが、国への強力な働きかけなどによって地方交付税等が増額され、地方の財政運営に最低限必要な財源が確保されました。

また、無駄をなくし、不要不急の事務事業の見直しなどを行った結果、財源不足を約120億円に縮小することができました。

財政運営を硬直化させる義務的経費については、これまでの行財政改革の成果により、人件費(対前年度比1.5%減)や公債費(同比0.0%増)を抑制することができました。

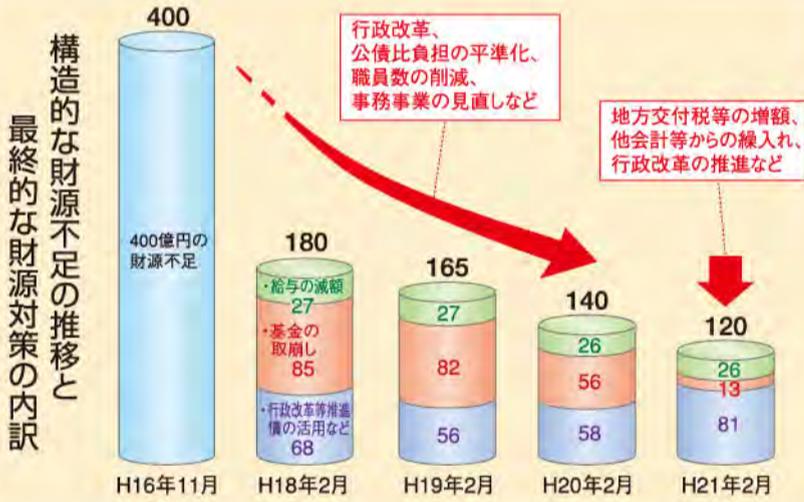
今回、平成21年度予算で、財政再建に留意しつつも、積極的な予算編成ができたのは、こうした財政再建や行政改革の努力を続けてきたからこそと考えています。

ボク③ 財政再建

行政改革の推進

●平成21年度に取り組む主な行政改革

- 新たな政策課題に対処するための組織整備と簡素効率化の推進**
 - 「交通政策の一元的な推進」、「消費者行政の強化」、「新型インフルエンザなど感染症対策の強化」、「中央病院における看護体制・診療部門の充実」、「雇用対策の強化」などを図るための組織整備
 - 組織の簡素化、業務の効率化(企業局、富山新港管理局など)
- 人件費の抑制**
 - 平成21年4月までの5年間で一般行政部門の546人(13.1%)を削減の見込
 - 職員等の給与を新たに平成20年度から3年間減額(平成17年度から6年間減額) 知事 △15%(地域手当を含めると△18%)、副知事等 △10%(同△13%)、一般職員 △4%~△1%(富山市内勤務職員は地域手当を含めると△7%~△4%)
- 公の施設の見直し**
 - 大境ビジターセンターを平成21年3月末で廃止
- 外郭団体の見直し**
 - 県住宅供給公社を平成21年3月末で解散
- 事業の点検・見直し**
 - すべての事務事業について点検を行い、484件の事業を見直し、約16億4千万円の節減
- 県有資産の見直し**
 - 引き続き、県有未利用地の売却促進
 - 低利用の県有財産(県職員住宅、職員仮駐車場など)の有効活用
- 公民連携の推進**
 - 民間委託の拡大に向け、民間提案制度のモデル事業を実施
 - 指定管理者制度を56施設(平成21年4月現在)に導入し、県民サービスの向上と経費の節減を実現(制度導入前の平成17年度と比べ約14億8千万円の節減)
- 職員の能力・資質向上と意識改革**
 - 業績評価による査定昇級の実施
 - 民間企業の若手・中堅職員との「異業種交流ミーティング」など、若手職員等の能力発揮や職務意欲の涵養のための環境づくり
- 県民参加と地方分権改革の推進**
 - 知事のタウンミーティング、ふれあい対話などを継続
 - 地方の自主性を高め、地域間格差是正に資する地方税財政制度の確立



財政再建の推進

財源確保と行政改革により 財源不足を着実に圧縮

- 地方交付税等の増額確保(地方交付税を別枠で1兆円加算)
- 税の偏在を是正する地方法人特別税等(平成20年度創設)の効果
- 行政改革による人件費の削減等 対前年度比 △1.5%(△22億円)
- 公債費負担の3年連続抑制 対前年度比 +0.0%

用語解説

※**県税**・・・県民税や事業税など、県が徴収する税金。
 ※**地方交付税**・・・どこの地域においても標準的な行政サービスを提供するために必要な税金等が不足している地方公共団体に対して、国から交付されるお金。地方公共団体が使い道を決めることができる。
 ※**県債**・・・道路や学校など長期間利用する公共施設の整備のために、県が借り入れるお金で、将来利用する住民にも費用を負担してもらうもの(通常債)。これ以外に、国の地方交付税の財源が不足しているために、県がお金を借り入れる臨時財政対策債(償還費用は後年度に全額交付税措置)などがある(特例債)。
 ※**国庫支出金**・・・国が使用目的を特定して交付するお金で、国庫補助金・負担金などがある。
 ※**公債費**・・・県債の返済に使うお金。

一人ひとりが、いきいきと暮らせる「元気とやま」の創造を目指しています。

「元気とやま」実現に向けた **主な取組み**

「安心」とやま

豊かな自然や生活環境を活かし、住み慣れた地域の中で、健康で快適に、安全で安心して暮らせる県づくりを進めます。



●医療の充実

- ・県立中央病院の機能強化（7対1看護体制導入に伴う改修、NICUなど新病棟建設の実施設計など）……【3億2,888万円】
- ・乳がんと子宮がんの検診機会の大幅拡充、受診率向上を図るキャンペーンの実施……【1,200万円】
- ・人工透析患者の増加を抑制するための体制づくり……【100万円】
- ・医学生等への修学資金の貸与（富山大学医学部の特別枠5名分を含む）……【5,556万円】
- ・新型インフルエンザ対策（治療薬の追加備蓄、総合対策訓練の実施、普及啓発など）……【1億1,308万円】



県立中央病院で7対1看護体制を導入

●健康づくりの推進、スポーツの振興

- ・メタボリックシンドロームの予防対策（社員食堂での普及啓発、親子向け生活改善教室の開催）……【430万円】
- ・スポーツ選手重点強化プロジェクトの推進（スポーツアドバイザーの委嘱、強化モデル事業の実施）……【590万円】
- ・プロスポーツを活用した地域振興（応援バス助成、地域交流活動への支援、連携した観光PRの実施など）……【2,300万円】

●福祉の充実

- ・福祉人材の確保（学生等の相談に応じる専門員の配置、潜在的有資格者の発掘、福祉職場の体験機会の提供など）……【4,982万円】
- ・在宅医療チームづくりや訪問看護ステーション整備等への総合的支援……【362万円】
- ・医療系ショートステイの空床等を情報提供するシステムの構築……【200万円】
- ・介護あんしんアパート整備への支援（70戸）……【3,500万円】
- ・障害者の地域生活の支援、グループホーム整備等への助成……【7,371万円】

●豊かで快適な環境の保全

- ・「ノーレジ袋全国フォーラム in Toyama」の開催（環境省と共同開催）……【350万円】
- ・太陽光を利用した大容量電池の開発、住宅用太陽光発電システム設置への助成……【1,630万円】
- ・仁右エ門用水発電所（仮称）の建設……【5億6,280万円】
- ・公用車の低公害車化、小型車化の推進（21年度は50台、4年間で200台の更新）……【1,053万円】
- ・世界自然・野生生物映像祭（JWF）の開催支援……【2,000万円】
- ・北東アジア地域における生物多様性沿岸環境評価手法の検討、海洋環境保全に向けたシンポジウムの開催……【340万円】
- ・イタイイタイ病の関連資料の整理、後世への継承方策の検討……【250万円】



北東アジア地域環境体験プログラム（韓国での原油回収作業）

●安全・安心なまちづくり

- ・消防学校・防災拠点施設の整備（用地造成工事、展示設計の実施）……【4億円】
- ・中部7県の緊急消防援助隊による合同訓練の実施（11月に富山県で実施）……【650万円】
- ・災害時に孤立する可能性のある集落が行う通信機器等の整備への助成……【300万円】
- ・自主防災組織への支援（アドバイザーの養成、ハンドブックの作成など）……【3,691万円】
- ・国の交付金を活用した消費者行政の充実（県消費生活センターの相談体制の充実、市町村の相談窓口強化への支援）……【7,465万円】

「未来」とやま

明日を担う人材が健やかに育まれ、多彩な県民活動、美しい県土づくりが進められている、未来への希望に満ちた県づくりを進めます。



●少子化対策、子育て支援

- ・保育サービス等に利用できる子育て応援券の配付……【9,057万円】
- ・特別保育（病児・病後児保育、一時保育、休日保育）の実施……【1億3,114万円】
- ・私立保育所、児童館の施設整備への支援……【4億574万円】
- ・開所時間を延長する放課後児童クラブへの支援……【240万円】
- ・市町村が実施する妊婦健康診査への助成拡大（14回分の無料化）……【2億5,089万円】
- ・とやま子育て応援団の普及（PRステーションの設置、協賛店マップの作成など）……【1,066万円】
- ・仕事と子育ての両立をめざす事業主行動計画の策定企業向け合同企業面接会の開催……【200万円】



特別保育を充実

●学校教育の充実

- ・中学校1年生の35人学級選択制の導入……【3,319万円】
- ・中1学級支援講師の配置……【4,773万円】
- ・小学校高学年における専科教員の配置……【4,408万円】
- ・いじめ、不登校等の相談に応じるカウンセリング体制の大幅拡充……【1億485万円】
- ・指導力のある教員等を活用した若手教員への指導技術や教育理念の伝承……【300万円】
- ・県立高校の再編に伴う新高校の施設整備……【6億5,874万円】



小学校の授業風景

●人材の確保・育成、男女共同参画の推進

- ・若年のものづくり人材の育成（技能向上フェアの開催、全国技能大会への派遣など）……【200万円】
- ・民間就職支援会社と連携したUターン就職支援、県内大学生等への県内企業PR……【1,745万円】
- ・配偶者からの暴力のない社会に向けた研修会実施、マニュアル作成、被害者支援……【2,950万円】

●芸術文化の振興

- ・ふるさと文学の普及啓発、貴重な文学資料の収集、拠点づくりの調査検討……【1,570万円】
- ・ハンガリーとの文化交流を促進するための相互派遣や文化交流フォーラム等の開催支援……【600万円】
- ・世界的な舞台芸術公演等を行う「シアター・オリンピックス利賀2009」の開催支援……【3,000万円】

●魅力ある地域づくり、森づくり

- ・くらしたい国づくりの推進（首都圏等でのセミナー開催、雑誌等での情報発信など）……【1,000万円】
- ・県内の祭りやイベントのフォトラリー・フォトコンテストの実施……【200万円】
- ・里山の再生整備（県民協働による里山林の整備、竹林の林種転換や竹資源の利用推進など）……【1億6,344万円】
- ・県産材の利用促進（公共施設等へのベンチ設置、公共施設等の内装木質化への支援、特別支援学校用机・椅子や幼児用遊具の開発など）……【3,840万円】



県民協働による竹林整備

「活力」とやま

勤勉で進取の気性に富む人材、恵まれた交通・情報通信基盤、産業集積などを活かし、創意工夫、意欲ある取組みが展開されている、活力あふれる県づくりを進めます。



●知恵と技術を活かした産業振興

- ・バイオ機器の研究開発や和漢薬研究の拠点づくりをめざす「ほくりく健康創造クラスター」の推進……【1億5,300万円】
- ・先駆的なロボットや福祉系ロボットの開発支援、国際ロボット展等への出展……【2,100万円】
- ・農工商連携の事業化支援（専門家による商品づくりの戦略策定など）……【190万円】
- ・「地域資源活用・農工商連携推進融資枠」の創設……【融資利率1.65%、新規融資枠2億円】
- ・デザインを活用して統一感を持たせた商品群として全国に発信する仕組みづくりの検討、推進……【1,100万円】
- ・薬都バーゼル（スイス）への友好交流訪問団の派遣……【710万円】
- ・販路開拓等を支援する「トライアル発注商品」の統一デザインマークの選定……【100万円】

●環日本海諸国へのゲートウェイの確立

- ・ロシア、欧米、環日本海地域との物流活性化等の調査、研究……【1,100万円】
- ・天津市（中国）での商談会実施、北東アジア市場におけるビジネス機会の創出・検討……【200万円】
- ・伏木富山港を活用した「環日本海シーアンドレール構想」の調査、検討……【500万円】

●農林水産業の振興

- ・富山米のブランド化の促進（土づくり、品種構成適正化への支援）……【9,820万円】
- ・肥料低減のための土壌診断等への支援……【6,650万円】
- ・不作付け水田におけるハトムギ・ソバ等の作付けへの支援……【400万円】
- ・水田での大規模な野菜産地づくりに必要な機械・施設の整備等への助成……【1,650万円】
- ・県産生乳の安定供給に向けて乳牛の飼養環境を改善する酪農家への支援……【500万円】
- ・耕作放棄地の復元と活用を進める活動への支援……【1,440万円】
- ・優良無花粉スギの大量生産に向けた体制づくり……【220万円】
- ・「富山のさかな」のブランド化の推進、学校給食での県産魚の提供……【1,643万円】



学校給食での県産魚の提供を充実

●観光の振興

- ・岐阜県と連携した広域観光の推進（共同観光展の実施など）……【400万円】
- ・三大都市圏、東海圏等の郵便局と連携した観光PR……【1,000万円】
- ・映画「劔岳 点の記」タイアップキャンペーン、協賛事業の実施……【1,250万円】
- ・横浜での開港150周年記念事業で物産・観光をPRする「富山ウィーク」の開催……【180万円】
- ・高山市等と連携した欧米向け広域ガイドブックの作成……【400万円】



富山県が誇る魅力を全国に発信する「劔岳 点の記」（6月20日公開）

●交通・物流ネットワークの整備

- ・北陸新幹線の一層の建設促進
- ・政府予算／北陸新幹線（長野～金沢）1,193億円……【うち県内約673億円（県負担約224億円）】
- ・富山新港多目的ターミナルでのガントリークレーン増設（1基）……【6億7,300万円】
- ・富山空港の利用促進（札幌便を活用した北海道連携交流促進事業の実施など）……【3,450万円】

●賑わいあるまちづくり

- ・商店街の魅力向上を図る専任サポーターの配置（商工会等に28名を配置）……【9,470万円】
- ・商店街の空き店舗等の情報発信や交流の拠点を設置するモデル事業の実施……【3,317万円】
- ・歴史や文化の薫るまちづくり、商店街等の賑わいづくりの取組みを支援……【2,450万円】

みんなの知恵と力を合わせて 未来を担う子どもたちを育てよう

クローズアップとやま

明日のとやまの教育



次代を担う子どもたちを健やかに育てることは、社会全体の大きな使命であり、みんなの願いです。ふるさとを愛し、チャレンジ精神で未来を切り拓き、富山から世界に羽ばたける多くの人材を育てるために、家庭、学校、地域の教育力を結集し、子どもたちの教育の充実に取り組んでいきましょう。

＜明日のとやまの教育が目指すべき方向＞

富山から世界に羽ばたき、未来を切り拓く人間の育成

※提言内容の詳細は、下記のホームページからご覧いただけます。



子どもたちに育んでいきたい「力」

- ・チャレンジする精神、学び続ける意欲
- ・日本やふるさと富山への誇りと愛着
- ・思考力・判断力・コミュニケーション能力
- ・命を尊び、他者を思いやり支え合う心
- ・たくましく生きるための体力 など

「明日のとやまの教育」に向けて
 少子高齢化や人口減少、グローバル化の進展等に伴い、教育を取り巻く環境は大きく変化しています。特に、子どもたちの学意や学力の問題、いじめや不登校の増加、家庭や地域における教育力の低下など、かつては見られなかった新たな課題が生じています。このため、「明日のとやまの教育が目指すべき方向」について、保護者や学識経験者、経済界など、様々な分野の方々に議論していただき、このたび、その結果が提言としてまとめられました。提言には、「明日のとやまの教育」の基本理念をはじめ、12項目の提案と140の具体的方策、子どもたちに育んでいきたい「力」など、県民の皆さんへのメッセージが盛り込まれています。

教育の充実に
 みんなで取り組む
 県では、この提言を踏まえ、皆さんと力を合わせて教育の充実に取り組み、「明日のとやまの教育」を推進していきます。このため、「教育タウンミーティング」の開催等により、みんなで教育に取り組む気運を高めていきます。また、本県の特徴を活かした富山ならではの取組み「富山スタンダード」を推進し、全国に誇れる質の高い教育の実現を目指していきます。

【富山スタンダードの推進例】
 ・中1の35人学級選択制と学級支援講師
 ・とやま科学オリンピックの開催
 ・ふるさと文学に親しむ学習の推進
 ・県立高校の郷土史・日本史学習の充実
 ・社会に学ぶ「14歳の挑戦」の充実

教育の充実を図る新たな制度

中学1年生の35人学級選択制がスタートします。



豊かな中学校生活を順調に始められるように

中学1年生になると、小学校と学校生活が大きく変わることから、いじめや不登校が急が増えます。このような現象は「中1ギャップ」と呼ばれ、近年、富山県でも大きな教育課題となっています。(グラフ参照)

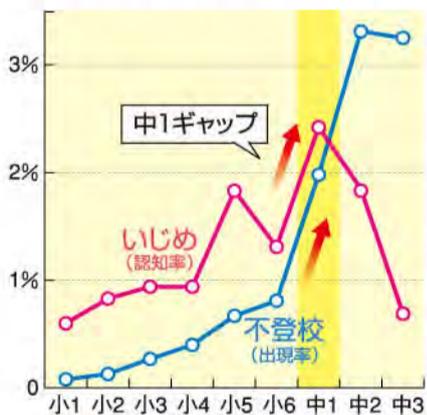
このため、平成21年度から新たに中学校1年生で「中1・35人学級選択制」を導入することにしました。

これに伴い、中学校1年生の1学級が平均35人を超える学校は、これまでどおり40人学級(1学級36~40人)とするか、35人学級(1学級35人以下)とするかを本校の実情に合わせ選択することになります。

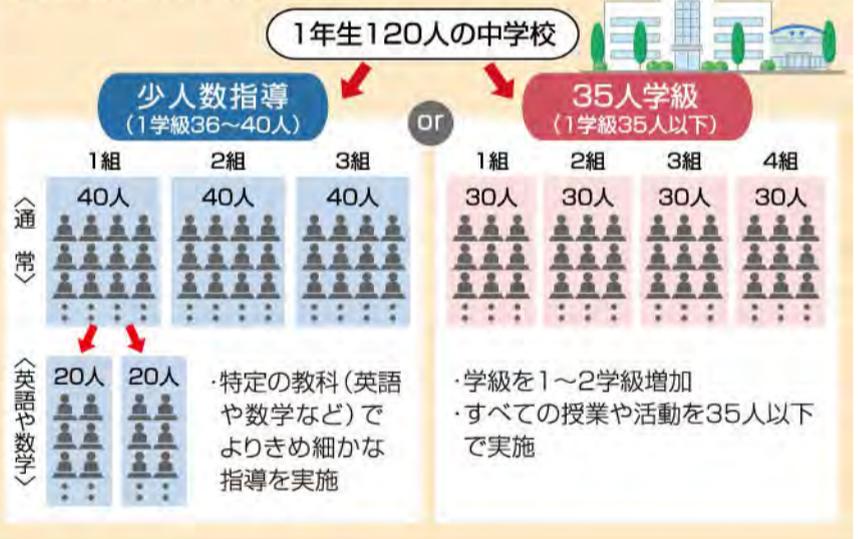
35人学級を選んだ学校では、学校生活のあらゆる場面で教員の目がより行き届きやすくなります。一方、教室の確保等の関係で40人学級を選んだ学校でも、特定の教科(英語や数学など)で、習熟の度合いなどに応じて、1学級を2つに分けて授業を実施するなど、きめ細かな少人数指導が行われます。

もともと中学生は、思春期の入り口であり、難しい年頃であるといわれています。県では、これからも、子供たちが安心して学べる環境づくりに努めていきます。

●いじめ、不登校の学年別状況(平成19年度)



●35人学級選択制とは?



●インタビュー

「中1ギャップ」の解消に期待しています。

小杉中学校PTA会長 織田 寿一さん(射水市)

中学校はいくつもの小学校から生徒が集まるので、子どもが早くなじめるかどうか心配でした。また、「教わる内容が増えて難しくなる」、「授業では教科ごとに先生が入り替わる」、「放課後も部活動がある」、そういった大きな生活の変化を、担任の先生が丁寧にサポートしてくれるとありがたいと思っていました。



中1の35人学級選択制が始まると、先生方の目が届きやすくなって子どもたち一人ひとりの悩みやつまずきに、より適切に手をさしのべていただければと期待しています。

TV / Radio Newspaper テレビ・ラジオ・新聞チェックガイド 県政番組のお知らせ

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ [毎週土曜] 9:30~9:45 4月 4日 (番組はお休みです) 11日 とやま発 新商品を! 農商工連携 18日 女性が輝く元気企業 25日 自立を支える福祉機器

元気とやま情報チャンネル 富山テレビ [毎週日曜] 9:00~9:25 4月 5日 (番組はお休みです) 12日 富山の起業家たち 19日 チューリップ王国とやま 26日 ペットを飼うときのルール

富山メモリアルナイト チューリップテレビ [毎週火曜] 21:55~21:58 県が取り組んでいる事業やイベントの内容などをわかりやすくタイムリーにお知らせします。

元気とやま情報スクエア FMとやま [毎週月曜~金曜] 10:50~10:55、(再)17:30~17:35(最終金曜除く) [毎月最終金曜] 10:50~11:00、(再)17:30~17:40 ※毎月最終金曜は「知事の県政ざっくばらん」として、知事が最新の話題について語ります。

県からのお知らせ コミュニティFM各局 ◎富山シティエフエム ◎ラジオたかおか ◎ラジオ・ミュージック ◎エフエムとなみ [毎週月曜朝、毎週金曜夕方] 各2分半

新聞広報 県からのお知らせ 4月4日(土)、18日(土)、25日(土)の朝刊各紙に掲載予定 ※18日(土)は、一部の朝刊には掲載しません。

富山県ホームページ http://www.pref.toyama.jp/ ※平成21年度から、新たにタウン情報誌、フリーペーパーに県からのお知らせを掲載する予定です。

県政の動き

今後の予定

- 4/ 1 富山西警察署の開署 5 少子化・子育てミーティング (14:00~ 氷見市ふれあいスポーツセンター) 12 少子化・子育てミーティング(13:30~ 小杉文化ホール) 25 少子化・子育てミーティング(14:00~ 速星公民館) 26 とやまの森づくりサポートセンター ボランティア交流会 (9:30~ 滑川市東福寺野自然公園) 5/23 スポレクとやま2010 500日前イベント (富岩運河環水公園) 29 とやま森の祭典 (10:30~ 上市町千石地内) 31 県民スポーツ・レクリエーション祭

最近の動き

- 1/21 ロシア・欧米・環日本海物流・観光懇話会 27 1月県議会臨時会 28 明日のとやま教育創造懇話会 31 少子化・子育てミーティング(黒部市) 2/ 1 少子化・子育てミーティング(砺波市) 2 県行政改革委員会 3 ふるさと文学魅力推進検討委員会(写真①)



①今後の富山の文学振興を図る方策について取りまとめた報告書が委員会終了後、知事に提出されました。

- 6 県周産期医療体制検討会 12 ゆきみらい2009in高岡(~14日) 13 県観光振興戦略プラン策定会議 14 越中とやま食の王国フェスタ2009~冬の陣(~15日)(写真②)



②高岡市の2会場に2日間で約6,000人が来場し、富山の冬の味覚、越中料理、富山の地酒を堪能しました。

- 20 平成21年度県予算発表 20 元気とやま農林水産奨励賞(農業部門)表彰式 23 競技力向上対策あり方検討会 25 地球温暖化対策県民会議 25 農商工連携フォーラムin富山 25 県緊急経済・雇用対策推進会議(写真③)



③今後の経済・雇用対策について、関係機関等の連携協力を確認しました。

- 26 2月県議会定例会(~3月24日) 28 地域医療・福祉連携シンポジウム(写真④)



④地域医療と在宅ケアをテーマとして、参加者が課題や今後の方向性について考えました。

- 3/ 3 とやまの竹資源利用・整備促進検討会 6 災害に強い山づくり検討委員会 18 滝田洋二郎氏への県民栄誉賞の贈呈 29 少子化・子育てミーティング(魚津市)

とやまのごっつお Namerikawa 協力滑川市食生活改善推進協議会 ほたるいかの菜の花サラダ 富山湾に春の訪れを告げるほたるいか。神秘の光を放つ幻想的な美しさだけでなく、味もまた格別で、足の部分を使った刺身「竜宮そうめん」や酢みそ和え、甘露煮など、いろいろな料理があります。今回は、旬の菜の花と合わせた春らしい一品。溶きがらしが菜の花、ほたるいかの味と香りをグッと引き立ててくれます。期間限定の味わいをぜひどうぞ。 ※深層水は、滑川海洋深層水分水施設(アクアポケット)などで入手できます。

ポイント

・ほたるいかをゆでる時は塩を多めに入れ、ゆですぎないこと! ・菜の花だけでなく、春キャベツやうどなど、春の旬野菜を使ってもおいしい!

県政クイズ Quiz

○の中に言葉(漢字2文字)を入れてください。ヒントは特集ページ(2P)にあります。

平成21年度県予算は、経済・雇用対策の拡充と将来の成長に向けた「○○・くらし安心予算」です。

- 応募方法...はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。 ●宛先...〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま4月号クイズ係」 ●締切...4月17日(金)(必着)

正解者の中から10名の方に、ほたるいか炊き込みご飯をプレゼントします。



どこ行く?

何する?

お出かけ情報

富山県立近代美術館 富山市西中野1-16-12 TEL 076-421-7111

開館:9:30~17:00(入館は16:30まで)
休館:月曜(5/4は開館)、祝日の翌日(5/7)
交通:富山駅(CiC横)から富山ミュージアムバス(城南ルート)で約10分(無料)
富山駅から地鉄バス(5番乗場)乗車、「西中野口」下車、徒歩2分
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3042/3042.htm>

豊かな日本画の世界

県立近代美術館の日本画作品を中心に、県水墨美術館の所蔵作品をあわせ、風景、花鳥、人物など、描かれたテーマに着目し、画家の視点とその多彩な表現を紹介します。

- 期間:~4月8日(水)
- 料金:一般500円(400円)、大学生400円(300円)、小中高生無料
※()内は20名以上の団体料金

色彩は踊る 巨匠たちのパレットと作品 ~梅原龍三郎からピカソまで~



高田誠のパレット
笠間日動美術館蔵

(財)日動美術財団の協力により、梅原龍三郎、安井曾太郎をはじめとする日本近代洋画の歴史を築いてきた画家たちにピカソ、ダリなどを加えた、世界でも珍しいパレットのコレクションと、その画家による作品をあわせて紹介します。

- 期間:4月16日(木)~6月28日(日)
- 料金:一般900円(700円)、大学生650円(500円)、小中高生無料
()内は20名以上の団体料金

会期中のイベント

※企画展示室では、企画展観覧券が必要です。

講演会「私の会った巨匠たちとパレット」

講師=長谷川徳七氏(日動美術財団理事長、日動画廊社長)
4月16日(木) 14:00~ ホール ※聴講無料

作家は語る(ギャラリートーク)

出品作家による展示作品についての説明
4月18日(土)、5月23日(土) 野上祇磨氏
4月26日(日) 藤森兼明氏
5月2日(土) 安達博文氏
5月10日(日) 能島芳史氏
各日 14:00~ 企画展示室

学芸員によるギャラリートーク

4月19日(日)、29日(水・祝)
5月3日(日・祝)、5日(火・祝)、16日(土)、31日(日)
各日 14:00~ 企画展示室

富山県水墨美術館 富山市五福777 TEL 076-431-3719

開館:9:30~17:00(入室は16:30まで)
休館:月曜(5/4は開館)、祝日の翌日(5/7)
交通:富山駅(CiC横)から富山ミュージアムバス(呉羽山ルート)で約6分(無料)
市内電車大学前行「新富山」下車、徒歩約10分
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm>

紫式部源氏物語展 ~石山寺の美~

紫式部が「源氏物語」を起筆したとされる大本山石山寺には、各時代の画家が描いた「源氏物語」を題材にした作品が多数所蔵されています。これらの作品群とともに、国宝・重要文化財を含む寺宝を展示し、「源氏物語」の世界と石山寺の悠久の歴史を紹介します。



「紫式部図」土佐光起

- 期間:前期4月4日(土)~4月26日(日)
後期4月28日(火)~5月17日(日)
※前・後期で一部作品の展示替えを行います
- 料金:一般1,000円(800円)、大学生700円(500円)、小中高生無料
前売り券800円(一般のみ)、セット券(2枚綴り)1,300円
※()内は20名以上の団体料金

富山県子どもみらい館 射水市黒河 県民公園太閤山ランド内
TEL 0766-56-9000

開館:9:00~17:00 ※5/3~5は18:00まで延長開館
休館:火曜(5/5は開館)、祝日の翌日(5/7)
入館料:無料 ※駐車場有料 普通車380円、大型車640円
交通:小杉駅南口から射水市コミュニティバスで約10分、
「太閤山ランド前」下車、徒歩15分
<http://www.toyamap.or.jp/mirai/>

ヨーロッパのおもちゃ展

伝統と個性を大切にしたヨーロッパのおもちゃの数々を紹介します。



- 期間:4月11日(土)~7月12日(日)
- 場所:2階ギャラリースペース

みんなでつくろう フロッタージュこいのぼり

一人ひとりがフロッタージュ遊びでウロコを作って飾り、巨大なこいのぼりを完成させます。



- 期間:4月25日(土)~5月10日(日)
- 場所:プレイホール
- 参加費:無料

ゆかいな妖怪たち

「妖怪クイズ」「妖怪メガネ」「妖怪スコープ」

妖怪をテーマにしたクイズと工作を楽しむことができます。

- 期間:4月25日(土)~5月31日(日)
- 場所:造形エリア(工房、ワークショップホール、クラフトコーナー)
- 参加費:妖怪クイズ…無料、妖怪メガネ…200円
妖怪スコープ…200円

富山県中央植物園 富山市婦中町上譽田42 TEL 076-466-4187

開園:9:00~17:00(入園は16:30まで) 休園:木曜(4/30は開園)
料金:入園料/一般・大学生600円(480円)、小中高生無料
※()内は20名以上の団体料金
交通:富山駅から地鉄バス(6番乗場)で約20分、「中央植物園口」下車、徒歩10分
<http://www.bgty.org/f-top.htm>

企画展 コシノヒガンザクラ

~高岡が育んだ桜の文化財~(サンライトホール)

高岡市の開町400年にあわせて、高岡古城公園に伝わる桜「タカオカコシノヒガン」を紹介します。



- 期間:~4月29日(水・祝)

ソメイヨシノと夜桜観賞

満開日に合わせて無料開放。開園時間を延長し、夜桜が観賞できます。ライトアップは、午後6時頃~の予定

- 期間:4月上旬(満開日の4日間) 9:00~21:30(入園は21:00まで)

植物園オリエンテーリング

- 期間:4月19日(日) 10:00~11:00(当日受付)

ハンギングバスケット展(サンライトホール)

- 期間:4月25日(土)~5月6日(水・休)

春のラン展(園内)

- 期間:5月3日(日・祝)~5日(火・祝)

私の植物画展(サンライトホール)

- 期間:5月8日(金)~6月3日(水)

日曜植物案内(毎月第1・2日曜) 13:30~14:30(当日受付)

見頃の花や話題の植物について解説します。

富山県[立山博物館] 立山町芦峯寺93-1 TEL 076-481-1216

開館:9:30~17:00(入館は16:30まで)
休館:月曜(5/4は開館)、祝日の翌日(5/7)
料金:展示館(常設展示)/一般300円(240円)、大学生240円(150円)
遙望館/一般100円(80円)、大学生80円(50円)
まんだら遊苑/一般400円(320円)、大学生320円(200円)
3施設セット券/一般650円、大学生400円
小中高生無料 ※()内は20名以上の団体料金
交通:北陸自動車道立山ICから約30分
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3043/home.htm>

冬季閉苑していた「まんだら遊苑」が4月1日(水)から開苑します。



毎月第3日曜日から始まる1週間を中心に、子ども(18歳未満)連れで協賛店を利用した場合、この優待券または優待カード、携帯画面の提示により、優待サービスを受けられます。

詳しくは、
<http://kosodate.derideri.jp/>